



人生の節目を刻む…!

校長 い だ むねひろ 井田 宗宏

「師走」は「師馳せ月」（しはせづき）から派生したものであり、この言葉の数ある語源説の中で、「師」とは「僧」であり、「師匠の僧がお経をあげるために東西を馳せる月」と解釈するのが最も有力なものと言われています。

最近の教師は、12月ばかりでなく1年中忙しいという感もありますが、確かに12月は、通常の授業や部活動などの指導に加え、定期考査や成績に関する事務処理、面談のための資料作成、年末・年始の準備、また3年は進路指導のための会議や関連事務など、多忙感にあふれています。

この時期になると、生徒たちの気持ちも緩みがちになります。授業に身が入らなかったり、思わぬ事故が発生したりするのもこの時期に起こりがちです。生徒たちが落ち着いて安定した学校生活を送るために、ゆとりを持ち一人一人の生徒を大切に、接していきたいと考えています。

振り返ってみますと平成27年も残すところわずかになりました。この一年間、皆様のご家庭ではいかがでしたでしょうか。先月、学校では「ふれあい月間」に関わり、思いやりの心やあいさつについて真剣に考え、生徒たちも意識的な取り組みを展開してきました。

朝礼では「いじめにまで至らなくても嫌がらせなどをしていませんか。」「学校内外で不審者を見つけたり、暴力行為等を目撃したら、皆さんが中に入ることは難しいので、すぐに先生方に連絡をしましょう」と生徒に訴えかけました。校内で生徒の表情を見ていますと、明るく純朴な姿が多く見受けられますが、内在している悩みなどは誰にでも付きものです。アンテナを高く張って、ささいなシグナルでも見逃さないように取り組んでいます。ご家庭でもお気づきのことがございましたら、遠慮なく申し出ただけければと思います。

3年生の生徒を対象に面接練習も始まっています。私にとり、一人一人の生徒と向き合い、真剣に話が出る貴重な場面になります。「どうしてこの高校を受験するのですか」という問に対して、スムーズに心から応えられることが大きなポイントと言えます。自分を素直に表現することが、緊張した場面では何よりも大切になります。

本校では、学習活動の中で、友人と関わり、助け合い、相手の良さに気づかせる体験を多く作るよう心がけています。そのためには生徒の心の健康が不可欠です。また家庭のあるべき姿が重要になります。生徒にとって最も安心感がある場所は家庭だからです。家庭で保護者の温かい愛情を受け、生徒たちは心のエネルギーを満たすのです。エネルギーが満たされた生徒は学校でも意欲的です。

ともするとだらけてしまうのが私たち人間かも知れません。そんな時、人生に節目を刻み、けじめとしていくことが、昔から人間の知恵としてありました。新年を迎えることは、一つの節目です。この時に、ぜひ新たな決意を胸にしてほしいものです。

最後に、今年も様々な出来事がありました。本校はお陰様で落ち着いた状況で、保護者、地域の皆様に支えられ、教職員が一丸となり取り組む態勢が出来つつあります。地域の皆様を中心に、「開校70周年を祝う会の準備委員会」も進められています。皆様のご理解ご支援のもと、改善に向け努力を続けます。明るく輝かしい新年を迎えられることを祈念するとともに、今後とも何とぞよろしくお願いたします。

「あいさつ革命！」 ～今、豊玉中生徒会が熱い！～

◇◇「ボランティア、挨拶運動、定期考査、校外学習、面接講座、校内ダンス発表会、駅伝大会 etc」◇◇

◇生徒会ボランティア「人のために…」

生徒会 会長 2年A組 田口 とわ子

私は、11月29日(日)地域行事「ふれあい広場」のボランティアとして参加しました。遊びにきた多くの小学生と言葉を交わすたびに笑顔が増えていくのを感じました。人のために、自分ができることをするということの素晴らしさを体験することができました。



豊玉南小学校「ふれあい広場」ボランティア

◇校内ダンス発表会に向けて

2年A組 岩崎 愛結美

12月18日(金)の校内ダンス発表会に向け、それぞれのクラスが個性を発揮し、様々な苦労しましたが、ユーモア溢れる演技や迫力のある演技など、様々な工夫が見られます。保護者の方々にも、ぜひ見ていただきたいと思います。

◇グレードアップしたダンス

2年B組 前田 錬

今年の校内ダンス発表会は、去年のダンスよりグレードアップしたダンスに仕上がっています。テーマに合った音楽や曲を選び、様々なアレンジを加え個性豊かなダンスとなっています。地域や保護者の皆様、これまでの僕たちの練習の成果を見てください。

◇生徒会「挨拶運動について」

生徒会 副会長 2年B組 内田 沙妃

「返す挨拶ではなく、自分からする挨拶を！」これは、私たち豊玉中生徒会の今期の目標です。先日の挨拶運動では、日毎に、自分から挨拶をする人が増え、豊玉中全体の挨拶に対する意識の高まりを感じました。私は、挨拶は、お互いの心を浄化してくれるものだと思います。そして、自分から挨拶をすることは、自分自身を豊にするものだと思います。

◇定期考査を振り返って「自分のやるべきこと」

1年B組 川島 愛華

今回の定期考査は、これまでの経験から、勉強時間を増やしたり、様々な工夫をして勉強に取り組みました。その結果、前回のテストよりも成績が上がりました。当たり前のことですが、自分に合った勉強方法がとても大事だと言うことに気づくことができました。

◇成功した校外学習(鎌倉)

2年C組 水島 紅葉

11月27日(金)濃霧の影響で行きの電車が大幅に遅れ、予定していた見学時間などに影響がでました。ところが、帰りの鎌倉駅では、すべての班が、予定時間通りにチェックを受けることができたのです。思わぬアクシデントに見舞われましたが、臨機応変に対応することができたことが一番大きな成果だと思います。

◇サクセス面接講座を終えて「勝利への道」

3年A組 磯部 晃

豊玉中学校では、面接時のお辞儀のし方や話し方など、面接のポイントや注意点について勉強会を行っています。ここで学んだことを生かして、3年生全員は、「合格」というゴールに向かって進んでいきます。

◇駅伝大会を終えて「団結の大切さ」

2年C組 村下 経征

駅伝は、一人一人が、ただ全力で走っていたわけではありません。チームが、団結して、勝利を目指して走っていました。駅伝大会に参加することで、走ることの素晴らしさを感じることができました。

◇「襷(たすき)」

2年C組 木村 波奈

駅伝大会は、日々の練習とは異なり、とても緊張しました。仲間に、襷(たすき)を繋ぐという使命が、どんなに苦しくても最後まで頑張ることに繋がったと思います。来年も出場を目指します。

◇駅伝大会を終えて「団結の大切さ」

2年C組 西潟 柚絃

レースがはじまり、順位は上位から、徐々に後退していきました。僕は、アンカーとして全力で走りましたが、結果は、満足のいくものではありませんでした。しかし、最後まで、襷を繋いだことを誇りに思います。



来年もよろしくお願ひいたします!